

令和2年1月26日(日)

船橋在宅医療ひまわりネットワーク実践発表会

チャットツールを使った働き方改革

～ICTで変える介護現場のコミュニケーション～

医療法人社団 弘成会

介護老人保健施設 八千代ケアセンター

施設長 篠塚健史

本日本お伝えすること

- Slackについて
- 介護現場の課題
- チャットツールの活用事例
- チャットツールの課題
- まとめ

【Slackについて】

◆ビジネス用チャットアプリケーション

アメリカ スラックテクノロジー社開発、基本機能は無料

◆チームコミュニケーションツール

個人よりもチーム内の情報共有が得意

◆信頼のセキュリティ

NASA スタンフォード大学 ルイ・ヴィトン 他多数

【介護現場の課題】

①どこも人材不足

施設はどんどん増える 外国人労働者も足りていない

②記録物が多い

365日休まず記録する手間 同じ内容を複数書く

③情報共有に時間がかかる

申し送りが全員に伝わるまで最低2, 3日かかる

①は解決しない、②は紙文化あり大幅には減らない

③は簡単に解決できる方法がある！

【当施設での活用事例①】

◆申し送りノートの廃止

⇒2つのチャンネル作成

・「申し送りノート」

フロア単位で職員同士の事務連絡用に使用

ex)〇月〇日の行事の参加者は～です

・「利用者ノート」

利用者の介助方法や変更の連絡に使用

ex)〇〇さんのパットを変更しています。意見ください

いつでもどこからでも確認・入力が可能！

⇒確認漏れ・伝え忘れ減少

【当施設での活用事例②】

- ◆◆◆事故報告書の回覧方法を変更
 - ⇒「事故報告書回覧」のチャンネル作成

以前は・・・事務所のボードに張り付けていた
⇒ボードに何枚も貼ってあり見にくい
⇒出勤して初めて事故を知る

変更後・・・紙ベースだが画像をすぐにアップ
⇒常に最新の事故が分かる
⇒出勤前に事故を把握可能
⇒朝の申し送りの時間短縮に効果

【当施設での活用事例③】

◆リハビリ職による介助指導に活用

⇒動画の効果的な活用

＜リハビリ職と介護職との情報共有に活用＞

- ・動画と音声により正しい移乗動作を確認可能
- ・その場にはいない職員も確認可能
- ・何度も繰り返し見直すことが可能

⇒文章やイラストでは専門職以外には伝わらない
介護職から介助方法のチェックを依頼できる

【当施設での活用事例④】

◆管理職は一斉通知が便利

⇒「ジェネラル」の活用

<全職員に対して連絡すること>

- ・必要書類提出依頼の連絡
- ・修理依頼に対する業者手配の日程連絡 等

⇒通知を作成する負担が無くなった(音声入力活用)

⇒書類の回収が早くなる

⇒伝言を受けたスタッフが記録する負担も軽減！

- ・相談員、ケアマネ・看護師はフロア別のチャンネル利用
新規の入所日の連絡、ケアプラン変更・処置内容 等

【当施設での活用事例⑤】

◆女性をもっと活躍できるように！

⇒急な休みの業務調整にも活用

・介護施設では多くの女性が活躍している
（お子様がいる場合）

急な発熱で仕事を休む時期がある

スラックのなかで

⇒出勤可能な職員の把握、業務調整が全て可能

【現在ある課題】

- ①セキュリティを守るのは人
個人情報流出する可能性は0%ではない
- ②仕事と休日の区別があいまい
いつでも情報にアクセスできる便利さの弊害
- ③直接コミュニケーションの減少
情報共有が目的なので議論には向かない

とは言うものの… 便利 > 課題 なので利用継続！

【まとめ】

- ◆ デメリットよりもメリットが大きい
- ◆ 利用した瞬間から業務改善
- ◆ 一番大変なのは最初の導入のみ

ガラケーからスマホに変えたように・・・

理屈ではなく、まずはビジネス用チャットツールを使うこと
便利さを実感したら、もう以前には戻れません！